

これまで「中東法務事情」というタイトルで、中東の法務事情について連載をしておりましたが、「海外法務事情」とタイトルを一新し、今後は中東に限らず世界各国の法律や実務をご紹介します。

## 第1回 ロシアの金融行政と中央銀行について

弁護士 南 純



弁護士

南 純  
(みなみ・じゅん)

〈出身大学〉  
大阪大学外国語学部  
ロシア語専攻  
北海道大学法科大学院  
サンクトペテルブルク大学  
法学部修士課程商事法専攻  
(LL.M)

〈経歴〉  
2016年12月  
最高裁判所司法研修所修了  
(69期)  
国内法律事務所入所  
2017年9月  
OOO PwC Advisory  
(モスクワ事務所)  
2019年3月  
第一東京弁護士会登録  
弁護士法人中央総合法律  
事務所入所(東京事務所)

〈取扱業務〉  
一般企業法務、一般民事法務、  
国際法務、国際仲裁、  
国際家事相続法務、  
国際刑事事件

### 1 はじめに

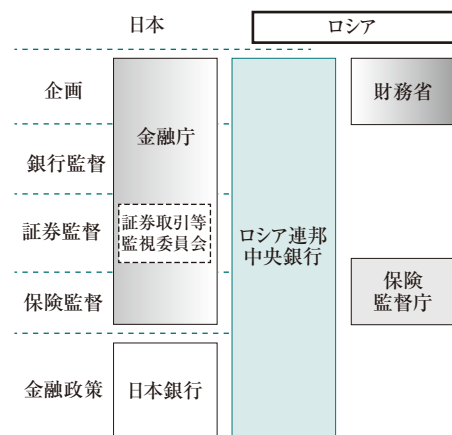
金融(銀行、証券、保険等)の行政監督制度については、世界中どこでも同じというわけではありません。例えば、日本では、制度企画、銀行監督、証券監督、保険監督については金融庁が統一的に運用し、金融政策については日本銀行が担っています。一方で、アメリカ合衆国では、制度企画は財務省が、銀行監督については連邦準備制度理事会(FRB)、州銀行当局、通貨監督庁及び連邦預金保険公社が、証券監督については証券取引委員会が、保険監督については州保険監督局がそれぞれ管轄しています。

翻ってロシアでは、一部(注:保険業の許認可については、保険監督庁の管轄)を除いて、金融政策も含めたすべての金融行政をロシア連邦中央銀行が主体的に管轄し、規制・監督しています。したがって、ロシアでライセンスをとって金融業を行う場合は、ロシア連邦中央銀行との関係が極めて重要になります。今回は、ロシアにおける金融行政の要であるロシア連邦中央銀行について簡単にご紹介したいと思います。

### 2 ロシア連邦中央銀行の権限強化の経緯

ロシア連邦中央銀行も、当初は日本銀行のように金融政策に特化した機関でした。金融行政全般については旧・連邦金融市場庁が幅広く監督していたからです。しかし、2013年、経済的合理性や金融行政権限を集中化するという世界的なトレンドに合わせ、連邦金融市場庁が廃止されました。そして、その機能がロシア連邦中央銀行にすべて移管されたのです。ロシア中央銀行法では、ロシア銀行が目指す目的について、当初、①通貨ルーブルの保護と安定、②ロシアの銀行システムの堅持と発展、③中央決済システムの安定と発展だけが規定されていませんでしたが、2013年改正により、④ロシア金融市場の安定と発展が追加されました。

その結果、ロシア連邦中央銀行は、日本の中央銀行である日本銀行及び内閣府外局である金融庁のそれぞれの権限を兼ねた幅広い権限をもつことになったのです。



### 3 ロシア連邦中央銀行の法的な地位

ロシア連邦中央銀行は、営利団体なのか国家機関なのかという議論があります。これは、営利団体の債務不履行が無過失責任となる条文(ロシア民法典401条3項)が、ロシア連邦中央銀行に適用されるかという重要な問題を孕んでいます。この点について、「ロシア連邦中央銀行の活動目的は利益追求ではない」とロシア中央銀行法で明記してあることから、ロシア連邦中央銀行は営利団体ではなく、同条は適用されないというのが一般的な考え方です。一方で、国家機関に対する徴収金免除の規定はロシア連邦中央銀行に適用されないと判断した裁判例もあり、その法的地位については明確な答えは出ておりません。したがって、この問題は、今後の新たな立法や判例の蓄積を待つしかない状況にあるといえます。

### 4 ロシア連邦中央銀行の職員に対する金銭等の授受

ロシア連邦中央銀行は、日本の金融庁と同格ないしそれ以上の権限があり、ロシアで金融業界に関わる日本企業は、ロシア連邦中央銀行の職員・役員と折衝・懇談等の接触をすることは不可避であるといえます。一方で、ロシア連邦中央銀行の職員・役員に対する金銭等の授受については、公務員に対する贈賄になりえないかという問題が存在します。これは、前述のとおり、ロシア連邦中央銀行が国家機関なのか否かとパラレルな問題であり、この点についても、やはりまだ明確な答えはでておりません。

しかしながら、少なくとも、ロシア連邦中央銀行の理事や役員に対する金銭授受については、商事贈賄罪(注:日本の取締役特別収賄罪に類似するが、ここでは贈賄した側が処罰される規定)が適用される可能性があります。つまり、日本に来日したロシア連邦中央銀行の幹部を接待した場合、それに関わった日本人がロシアで刑事処罰される可能性があるのです。

したがって、ロシア連邦中央銀行の職員・役員との付き合い方については、公務員との付き合い方に準じて考えて、とても慎重になるのが一番リスクの少ない対応だと思料します。

### 5 おわりに

日本銀行と聞くと、造幣や公定歩合などのイメージがありますが、ロシア連邦中央銀行は、前述のとおり、日本よりも広汎な金融監督権限が与えられています。国が変われば、金融行政やその監督の仕組みは全く異なりますし、その前提を理解していないとビジネス上で大きなリスクを背負う危険性があります。海外の金融業に関連するお仕事をされる際には、その国の中央銀行の役割や法的地位がどうなっているのか、可能であれば一度確認しておくのが肝要といえるでしょう。